

ご挨拶

会長 豊田勝良

先日、三寶寺さんの秋の彼岸法要に参列して参りました。前日の秋雨前線南下により『暑さ寒さも彼岸まで』の通り一気に秋模様、朝晩はすっかり涼しくなってきました。それでも日中は陽射しが強く『天高く馬肥える秋』とは、まだまだ時間がかかりそうです。町会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃より町会活動に対しましてご理解、ご協力を頂きありがとうございます。

ここ最近、異常気象が続いております。特に今年の夏は猛暑が続き例年にない高温記録を更新し毎日のようにテレビ等で熱中症の注意喚起が行われていました。雨も少なく作物も思うように育たなかったようです。それが、台風の上陸、接近による豪雨、又、ゲリラ豪雨により大変な被害が各地で出ました。幸い私達の住んでいる地域では大きな被害がなかったようですが、地域の安全が一層重要であることが再認識させられました。これらの異常気象が地球温暖化の原因の一つとされ、今後も予測出来ない気象現象が増加すると思われます。

町会としても災害対策、防災意識を高めていく事が大事なことだと思います。

今年の秋は、文化交流部会の「大人の社会見学会」本所防災館の災害の疑似体験、防災部会の「避難訓練」が行われます。これらの町会活動を通じて地域の防災意識を高め、又、地域の絆を深め互いの助け合える環境づくりを進めていきたいと思います。前回の町会便りで練馬区から送られてきた『安否確認ボード』を利用した訓練を予定していましたが、実施方法が難しく、どのような訓練にしたらいいか町会役員内で『安否確認ボード訓練検討会』を開催し訓練方法が決まり次第、町会員の皆様にお知らせしたいと思います。

まだまだ日中は暑い日が続くようです。町会員の皆様お体に気をつけてお過ごし下さい。

防災訓練 & 地域交流祭り

地域みんなで協力して、災害に強い街をつくりましょう！訓練に参加しておくと、家族や自分を守る力になります

【日時】 11月9日 日曜日

【場所】 練馬区立みんなの広場公園

【防災訓練】 消火器訓練 担架訓練 AED 震度7の起震車体験
炊き出しの昼食 輪投げのお楽しみもあります！

【地域交流祭り】 玉入れ 水運びルー パン食い競走

小雨決行

お土産(保存水とビスコ)も用意しています！
皆さん参加してください



各部のお知らせ

会計部

町会費について

石神井町会の令和7年度年会費は、無事集金されました。世帯数と集金額を報告いたします。みなさまご協力ありがとうございました。

町会に入っておられる方は、1672世帯
集金額は、2,001,407円 でした。

内訳は、

○1支部から14支部まで、1321世帯 集金額 1,584,800円

○マンション、アパート は、351世帯 集金額 416,607円

昨年と比べると、30世帯程少なくなりました。

文化交流部

バス旅行のお誘い

大人の社会科見学 「迎賓館赤坂離宮と本所防災館」

世界の要人をもてなす迎賓館赤坂離宮と災害の様々な疑似体験ができる本所防災館を回ります。

日にち:10月14日(火)

行程:石神井 気楽な家前(8:30 集合)＝迎賓館赤坂離宮＝両国(ちゃんこ霧島)＝本所防災館＝石神井(16:00 解散)

会費:会員 8,000 円 非会員 10,000 円

申込み:各支部長さん又は青木利恵(Tel03-6750-6211 午後のみ)まで

※残り少なくなっています。参加ご希望の方は早めにお申し込みください。



地域福祉部

災害時における避難行動要支援者に対する支援について

前回の町会便り(令和7年6月発行)でご説明したように、石神井町会では、平成27年(2015年)6月以来毎年、練馬区から災害時の「避難行動要支援者名簿」(旧 災害時要援護者名簿)を受け取り、そのうち町会の会員である要支援者については町会で、町会の会員でない要支援者についてはその地区を担当する民生委員が災害時の安否確認を行い、必要な支援(避難行動支援)を行うこととしてきました。

具体的には、町会の会員である要支援者については、その方が所属する班ごとにその年の班長さんあるいは気心の知れた隣人が安否確認及び必要な避難行動支援を行います。

安否確認の要領は、震度5弱以上の地震があった場合、要支援者の方は、無事な場合は区から配布されている「安否確認ボード」を使い、「無事です」という面を表にして玄関に掲示します。班長さん等の安否確認等担当者はその掲示を見て無事を確認し、必要な場合には避難行動支援を行います。

今回は必要な避難行動支援の内容について、少し詳しくご説明します。

「避難行動要支援者名簿」には、要支援者本人の状況について、5項目にわたり説明しています。身体状況、支援が必要な理由、暮らしの状況、避難に必要なもの及び特記事項の5項目です。

「身体状況」とは、身体障害、知的障害、精神障害の状況、要介護度、及び難病患者の場合難病名などです。

「支援が必要な理由」とは、寝たきり、認知症、危険性の判断が難しい、言葉の理解が難しい、言葉(声)が出ない、見えにくい、聞こえにくいなどです。

「暮らしの状況」とは、身近に避難支援者がいない、一人で外出できない、同居親族がいない、昼間一人きりになるなどです。

「避難に必要なもの」とは、常備薬、杖、白杖、車いすなどです。

「特記事項」とは、その他支援が必要な理由、避難時に必要な支援、かかりつけ医、医療状況(例えば統合失調症の為、〇〇病院に通院中)などです。

避難行動支援に当たっては、これら要支援者本人の状況を理解し、状況に応じた支援を行う必要があります。そのため、日頃から要支援者への声かけや見守り活動を継続的に行い、必要な場合には避難行動要支援者名簿の閲覧を行うことなどが必要となります。

又、発災時には、まず第一に自分の安全確保・火の始末などを行ったうえで、避難支援活動を行わなければなりません。

要支援者をどう支援できるのか、今後区の意見などを参考にして役員会で具体的な詰めを協議していくつもりです。

今年の町会界限のお祭り

「盆踊り」

昨年は光和小学校と石神井小学校、同日で行われた盆踊り。悪天候の為、途中で中止となりました。今年は、光和小学校では、7月19日(土曜日)、石神井小学校では、7月21日(月曜日)と別の日に行われ、両日とも晴天に恵まれ楽しく踊りました。町会では6月3日から7月18日まで13回、各日2時間、踊り練習会を開催。ベテラン会員の指導の元、「相馬盆歌」などの古典的な盆踊りだけでなく、「オバQ音頭」や「ドラえもん音頭」なども和気あいあい学びました。リズムに乗った運動としても、年齢を超えた町会員との親睦も得られる点でもなかなか得難い機会です。

「石神井祭」

9月6日と7日に、45年ぶりに復活された御輿。石神井町会内を練り歩きました。主催の石神井公園商店街振興組合が、担ぎ手100人用に貸半纏

100枚を新調。沢山の御輿同好会から、地元の同好会「石粋会」を中心に約80名が参加。今回の御輿は、「石粋会」所有のものでした。御輿が練り歩いた道路沿いに。見物人も沢山集まり、久しぶりの御輿に盛り上がりました。

「石神井神社のお祭り」

石神井神社は、昔近くの井戸から出土した石神を今も保存しており、これが石神井の地名の由来だという説もある町会内にある神社です。10月26日(日)に、子供御輿と曳太鼓を出す石神井神社のお祭りがあります。11時から神輿は宮出し、12時半に宮入。その後に模擬店やゲームも、出ます



石神町会のみなさま、こんにちは！地域生活支援センターういんぐです。

昨今、「メンタルヘルス」という言葉が様々なところで取り上げられています。

精神保健福祉講座

不安障害について学ぼう～心配や不安との向き合い方～

対 象：テーマについて関心がある区内在住の方

日 時：11月28日（金）14：00～16：00（13：40 受付開始）

会 場：石神井保健相談所 2 階講堂

定 員：35 名程度（先着順） 費 用：無料

国勢調査



5年に1回ごとに行われる国勢調査の時期になりました。もうお宅には調査票が届いているでしょうか。調査員が、日本の全家庭に調査票を配布。受け取った世帯主は、必要事項を記入し、返事は郵送かインターネットで送る仕組みです。大事な全国調査ですが、今年は特にこの行事に乗じて、この所盛んな詐欺が、つけこんでくるのではないかと、心配されています。



本物の調査員は、顔写真付きの身分証を首から下げ、手には専用の青いカバンをもって活動しているので判別可能。自宅に調査員が来て、対面して、何だか怪しいと思ったら、本物かどうか練馬区に問い合わせしてから、対応するのが一番。電話が掛からなくても、石神町会内では、調査員はほとんど町会員が担っているの、町会の事を聞けば本物かどうかはすぐ分かります。またこの調査では電話やスマホで調査員が、個人の情報を聞くことは、一切ありません。そんな電話やスマホは、無視しましょう。

青パパイヤの実

40度近くまで日中の気温は上がり、連続する熱帯夜。乾燥が続き、たまに雨が降ると激しい雷を伴い、短時間で圧倒的な雨量の降雨。もう何年も前から識者に警告されてきた地球温暖化。緑多いここ石神井でもいまや現実のものになっています。石神井町5丁目の体験農園では、2月に植えられた沖縄石垣島の青パパイヤの苗が立派に育ち、大きな実を幾つもつけました。ここはもう熱帯だという自然の証を目の前にみせつけられ、温帯でぬくぬく生きてきた我々に、熱帯で生きるそれなりの配慮と覚悟を迫っているようです。

